

NPOまなびピアプロジェクト 事業報告【山形市】

主催者名	ユニヴァーサル・デザイン研究会
事業名	街づくりのユニヴァーサル・デザイン ＝実践現場から地域とのきずなの形成を目指して＝
開催日時	平成13年10月13日(土) 13:00~17:00
開催会場	とかみ共生苑
参加者数	80名

① 実行委員長報告

■ ユニヴァーサル・デザイン研究会 代表 鈴木幸子

ユニヴァーサル・デザイン研究会主催のシンポジウム当日の会場は、プレゼンター・パネラーを囲み、イスを半円形に設営して始まりました。

プレゼンターの先生方と会場の方々との熱を帯びた話のやりとり(トークイン)が出始めた頃には、通路まで人々がいっぱいになりました。中には車椅子使用の様子から察するとこの「とかみ共生苑」に入所なさっている高齢者の方もおられ、パソコン要約筆記の画面に見入って小声で読んでおられました。また、臨時に設けた託児室から子ども達も会場を覗きに來たりで暖かい雰囲気の中での進行となりました。

ともすれば地味で堅い印象の企画にも拘わらず、米沢、高畠、川西、寒河江など県内各地からよくぞ80人余の方々を集まって載きました。

お礼を申し上げますと共に、改めて関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

② 一般参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ◆ 他人事だからと排除せず、何事に対しても学ぼう、学ばせて戴いたという気持ち、ユニヴァーサル・デザインのある生き方をしていきたいと思いました。
- ◆ 石井さんの報告はとても感動的でした。困難な時こそ力がでてくるという実体験をなされた石井さんのお人柄が滲み出ていました。今、自分に出来ることは何かと考えさせられました。
- ◆ 端山先生の話をはじめとお聞きし、原理を掴むことの大切さ、そのことによって希望、そして道筋が見えてくると思いました。
- ◆ このよ様な研究会は講演会のように進行のだろうと思っていましたが、このような柔らかい雰囲気で見ました。ユニヴァーサル・デザインについて、こんなに幅広い年齢の方々が参加しているとは思わなかったので、これも驚きました。トークインも一番手で当てられて焦りましたが、楽しかったです。
- ◆ 人が人であるために、どのような人もその存在が平等であることの発想が満ち足りている空間というか、ひとときがとても好きです。

### ③ プレゼンターの声 (アンケートより)

- ◆ 会場が良かったが、天井が高いと音が散ってしまうことに気付いた…う～ん、難しいですね。みなさんのあたたかい雰囲気と前向きなムードだったので集中できました。ユニ研の方の親しみ易さの力でしょうか？端山先生のお話をうかがうと、現状認識と社会的意味付け、将来展望づくりがすすみます。ものすごく勉強になります。また機会があればお声掛け下さい。有難うございました。



1. キックオフミーティング@新庄(1月26日?)
2. ユニ研にて受託了承
3. 企画・進行管理・プロデューサー兼PJ事務局選任
4. 企画書・予算書作成
5. プロジェクトスケジュール(作業工程表:添付参照)作成
6. 活動の詳細は添付スケジュールにて省略
7. 主要作業・関連資料
  - (1) 事業企画書・予算書
  - (2) プロジェクトスケジュール(作業工程表)
  - (3) 生涯学習についてのブレインストーミング&テープ
  - (4) ユニ研定例活動メモ&テープ
  - (5) 山形駅西口ふらりパトロール実施、検討、纏め
  - (6) プレゼンター(石井氏)との諸調整
  - (7) 準備・役割分担の決定&作業
  - (8) 当日の進行スケジュール&確認テーブルの作成
  - (9) 広報資料
    - \* 県作成パンフ(NPO用)
    - \* ユニ研独自のパンフ
    - \* ポスター(山形駅、その他へ掲示)
    - \* 当日会場配布資料
      - ・次第、プレゼンターその他紹介、メモ
      - ・上記点字版
      - ・アンケート
      - ・UDリーフレット
      - ・UD活動報告書
      - ・とかみ共生苑パンフ
  - (10) 付帯サービス
    - \* バリアフリー対応会場
    - \* 送迎バス(山形駅⇄会場)
    - \* 専用駐車場
    - \* 要約筆記(PC&プロジェクター投影による)
    - \* 託児コーナー
  - (11) 礼状送付
  - (12) プロジェクト総括書作成&研究会にて報告
  - (13) 県&NPO実行(委)向け報告書&収支決算書作成

